

大学生のメンタルヘルス研修

全国と同様、大阪府でも学生・生徒等の自殺者のうち、大学生・専修学校生等が半数以上を占めています。近年深刻となっている大学生のメンタルヘルスについての理解を深め、大学での学生相談の実践や地域と連携した支援を知り、考えることで、学生と関わる様々な支援者が連携して学生のいのちを支えられる相談支援体制の拡充をめざします。

[日時] 令和8年3月6日(金) 14時～17時

[場所] ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
5階 特別会議室
(大阪市中央区大手前1丁目3-49)

[内容]

- 講義 「大学生のメンタルヘルスについて」
講師 大阪市立大学名誉教授 三船 直子 氏
- 報告 「大阪府こころのホットラインの実施状況について」
関西カウンセリングセンター
大阪府地域保健課
- 地域の実践報告 吹田市保健所 地域保健課
- グループワーク

[対象] 大阪府内の大学、短期大学、専修学校の関係者、
保健所・市町村で精神保健福祉業務を含む相談支援業務従事者

[申込み] こころのオアシス(<https://kokoro-osaka.jp>)→研修→
自殺対策研修→J-7



[申込みフォームはこちら](#)

上記ページ内にある申込フォームまたは二次元コードからお申し込みください。

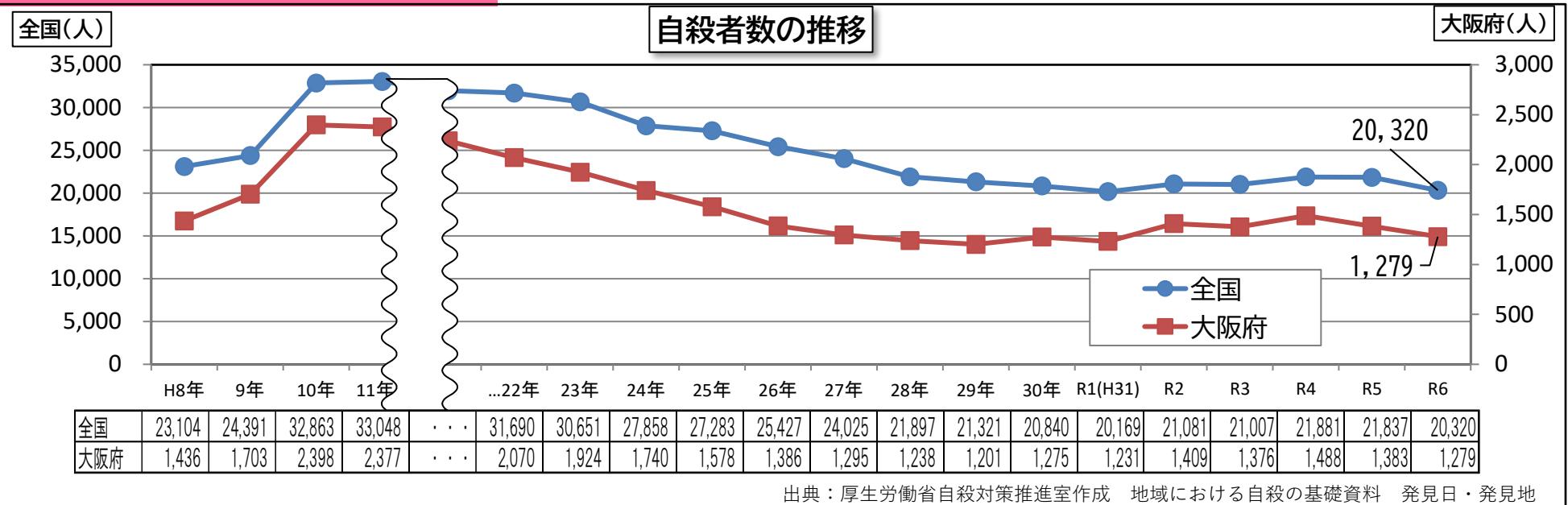
申込み締切：令和8年2月20日（金）17時まで

※申込み締切後に、当センターよりメールで「受講決定通知書」送付します。

問い合わせ先

- 大阪府健康医療部保健医療室 地域保健課精神保健グループ 濱田・佐々木
TEL:06-6944-7524(直通)
- 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当:南・入谷
TEL:06-6691-2810(課直通)
E-mail:kenkosogo-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府の自殺の現状

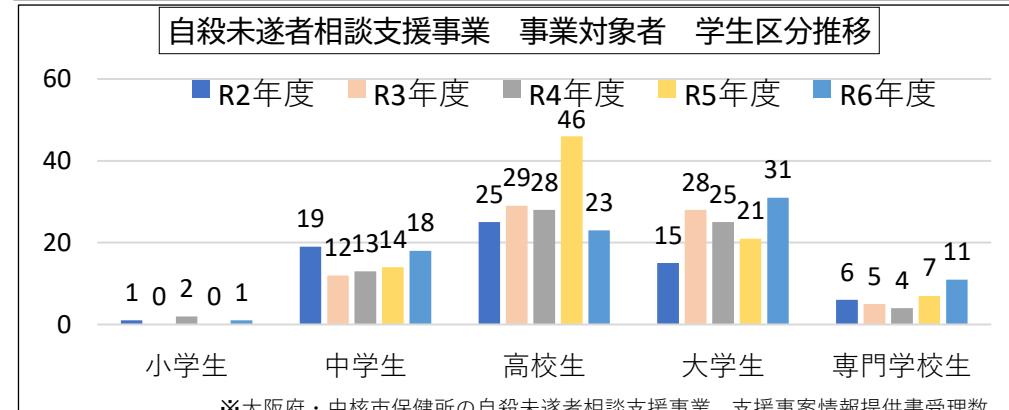
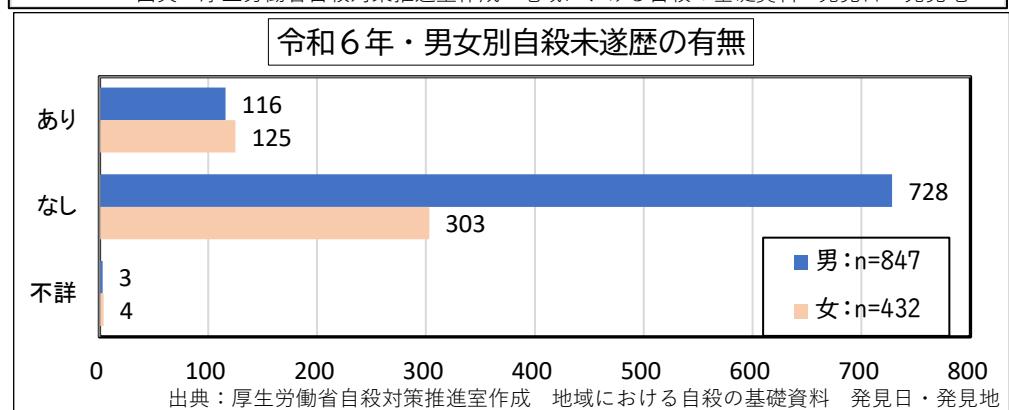
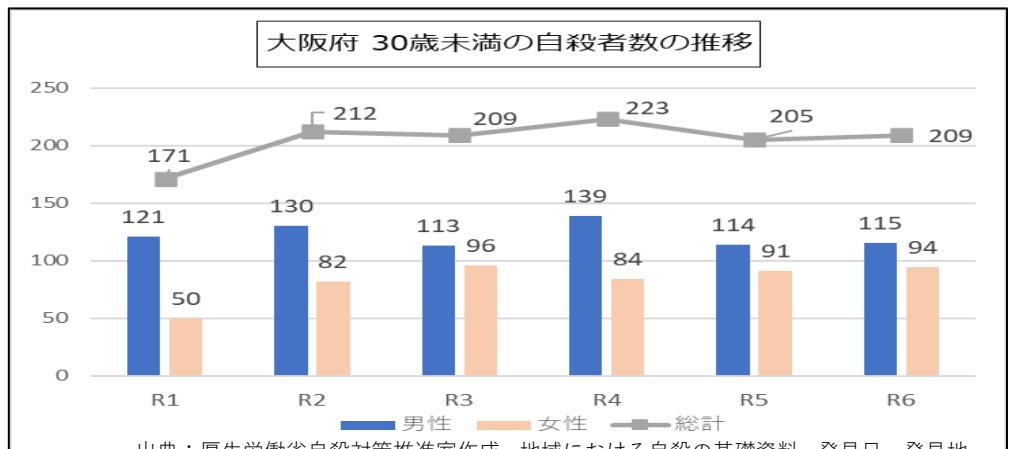


令和2年11年ぶりに増加した自殺者数は、令和4年をピークに令和5年、6年と減少し、令和6年は前年より104人減少して1,279人となっています。

近年、30歳未満の若年層の自殺者数は増加傾向で、高い水準で経過しています。

また、令和6年大阪府の自殺者のうち、自殺未遂歴「なし」が1,031人(80.6%)、「あり」が241人(18.8%)となっており、自殺者の約5分の1の人に自殺未遂歴があります。男性の自殺未遂歴「あり」の割合は13.7%、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は28.9%となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。自殺未遂歴のある方は再度自殺を図る可能性が高いと言われており、再度の自殺企図を防ぐ支援が求められます。

大阪府の自殺未遂者相談支援事業の対象者については学生で増加傾向であり、学生区分別にみると大学生・専修学校生が令和5年度28人から令和6年度42人と大きく増加しています。



自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、自殺の背景には、精神保健の問題だけではなく、学業不振や進路・将来への不安、いじめや孤独・孤立、過労、生活困窮、虐待などの様々な社会的要因があります。

このため、自殺対策は、社会における「生きるための阻害要因（自殺のリスク要因）」を減らし、「生きることの促進要因（自殺に対する保護要因）」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクを低下させる方向で、生きることの包括的な支援として推進する必要があります。

自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。

【こころの相談窓口案内サイト】



【悩みの相談窓口一覧】

悩みの相談窓口一覧
お困りごとや心配ごとに応じて、主に大阪府内の相談窓口を掲載しています。

